

# 護 賀 新 年



# 学園だより



学校法人 群馬パース学園

## 群馬パース大学

■ 高崎キャンパス  
〒370-0044  
群馬県高崎市岩押町5-4  
TEL 027-310-7766(代)  
FAX 027-310-7767

■ 高山キャンパス  
〒377-0702  
香妻郡高山村中山6859-251  
TEL 0279-63-3366(代)  
FAX 0279-63-3477

## 群馬パース福祉専門学校

〒377-0201  
群馬県渋川市上白井2564-6  
TEL 0279-53-4800(代)  
FAX 0279-53-4991



## 平成20年度に向けて

総 長  
樋 口 建 介

明けましておめでとうございます。  
平成10年に群馬パース看護短期大  
学を開校し、群馬パース学園短期大学、  
群馬パース大学となり、本年度十年  
目を迎えます。

この節目の年に、群馬パース大学  
保護者の方々から後援会組織の立ち  
上げについてのご提案を戴きました。

群馬パース学園にとって、この上な

い喜びで、私自身も久しぶりに感激を味わいました。準備委  
員を快く引き受けていただいた方々に、早速、設立総会開催  
の運びになったと伺い、平成20年の幕開けにふさわしい出来  
事と期待しております。

本年度は、群馬パース大学では大学院設置申請を行います。  
また、中・長期計画将来構想を実現するための第三キャンパ  
ス地の決定を早めに行いたいと思います。

この実現により、本大学の第一高山キャンパスは学生寮で  
共同生活を通じて連帯感を学び、この経験の下に、第三キャ  
ンパスは学問の研鑽と同時に地域社会と共に歩み貢献する学  
生生活を送ります。

第二高崎キャンパスは、都市部にあることを活かし昼夜  
開講の大学院(博士課程前期・後期)を設置し、「臨床」と  
「研究」と「教育」の循環を図ることで、従来には新しい  
価値のあるものを誕生させ、現在の社会に貢献することを目  
指します。

これらの実現のために、群馬パース大学は「美しく・健や  
かに・元気で老いる」ことのできる社会を目指し、また学生  
に対して単に高度の知識と専門技術を習得させるとどまら  
ず、人間としての高い徳性、明晰な知性、鋭敏な感性を体得  
させることが最も重要であります。



# 本学の理念と実践

学長 小林 功



本学は平成17年度から四年制大学としてスタートしました。

わが国の人口の少子化に伴い、大学への入学生、若い人材の確保がいよいよ重要な課題になってきました。それにはどうしたらよいか。

その一。「人間愛に基づいた人材の育成」。創立者樋口建介総長の理念でもありますが、国際化社会にも通用する立派な人材にして、卒業生を世に送り出すこと。

その二。その具現化のためには「学生教育の充実」。全教職員共通の認識に立ち、頑張ること。

その三。「研究のすすめ」。大学人は研究者でもあり得るわけですから、日夜の研究成果を国内外に発表して欲しい。特に論文にして頂きたい。

その四。「社会的貢献」。知的資源を有効に活用して社会に役立つ仕事を進めること。地域や他の研究機関とも協力してゆけ。

その五。「楽しい学園であること」。前向きに議論し合い、「夢」の持てる学園でありたい。

要は月並なことです。が、学問の府としての原点に立ち、本学の伝統作りに邁進することを心から願っております。

# 新春に寄せて

群馬バース福祉専門学校 校長 山田 完治



新年おめでとうございます。皆様のご支援により、群馬バース福祉専門学校に改称後、初の新春を平穏に迎えることができました。本年も宜しくお願い致します。

わが国の高齢社会は大きく進行し、全人口に占める六十五歳以上の割合が二十％を突破しており、七十五歳以上の割合も十％を超えたとの報道がなされています。介護を要する高齢者の増加に対応するために、介護職員の増員が喫緊の課題となっておりますが、介護施設の人手不足、養成校の学生不足が続いております。幸い、昨年度末に厚生労働省が作業部会を設置し、介護現場の人手不足と介護報酬への対応の検討が開始されました。介護分野は変動期のさ中にあるますが、養成校としての不易の努力目標は、当然ながら確かな知識と技術を習得した心豊かなハイレベルの人材の育成であります。

学生の資質向上を最重視して、師弟同行で努力を傾注して参りますので、今後とも関係各位のご支援をよろしくお願い申し上げます。

# 謹賀新年

事務局長 永田 榮一



早いもので当年12月に設立認可を受け、創立十周年を迎えます。

創立以来、順調に歩みを進めて来られましたのも、偏に関係各位の方々及び諸方面からの絶大な温いご支援の賜物とその恩恵に對しまして衷心より謝意を申し上げます。

さて、平成19年度の役員会の活動についてご報告申し上げます。

・第39回平成19年3月29日(木) 群馬バース大学平成19年度方針について。

完成年次後の大学院の開学並びに準備委員会の設置委員会及び準備委員会について承認された。

一、群馬バース学園短期大学看護学科、理学療法学科生の全員卒業による学科廃止及び養成学校の指定取消について文部科学省へ届け出すことについて承認された。

一、学内諸規程の整備として、就業規則の改正外12規程の改正等が承認された。

・第40回平成19年5月24日(木) 第41回平成19年10月4日(木) 一、JR操車場跡地利用事業計画

(平成18年9月28日開催の第37回役員会承認) について、高崎市当局と取得協議を進めていたところ、諸事情により取得を断念することとなり、同事業計画を取り下げたい旨諮り承認された。

一、前記事業計画の取り下げに伴う新事業構想として、(北群馬郡吉岡町所在) 新キャンパス事業計画を提案承認された。

一、大学院(修士課程)「保健科学研究所」の開設に係る文部科学省への認可申請について承認された。(開設予定平成21年4月)

・第42回平成19年12月7日(金) 一、平成21年開設予定の大学院学則(案) について、現在未決定の入学定員・学生納付金に係る条項を除き、骨子について承認された。



一、寄附金の募集について 体育館の改修及び学園祭補助金等学生生活動支援のための経常的経費の募金活動について承認された。 以上

# 地域看護学専攻科 閉科に際して

地域看護学専攻科長 梅林 奎子



皆様お変わりなく新しい年をお迎えのことと存じます。

平成13年短期大学第一期生の卒業と同時に、地域看護学専攻科(保健師養成)が発足し、平成20年3月、第七期生を最後にその役割を終えることとなります。既に、平成17年4月から四年制大学で、看護師教育、保健師教育を統合して教育が始まっております。つまり発展的解消と言えらるでしょう。

地域看護学専攻科の修了生は、平成20年3月13日の修了式をもって総数一七三名となります。修了生は、全国津々浦々で保健所、市町村保健センター、学校、病院、企業等で活き活きと活動していただき、後輩の実習指導もしてくださる心強く思うと同時に感謝しております。先日某大学の先生から「バースの卒業生がよい実習指導をしていますね。」と仰って頂き、教員

一同嬉しくもあり、ほっとしたりもいたしました。何かにつけて保健師さんや病院の師長さんから皆さんの働く姿を聞いたり、お褒めの言葉を頂いており、教員一同頼もしく思っております。

一年間のハードな教育過程のなかで、学生と私たち教員が面と向かってやり合いながら過ごした日々を思い起こし、クラス全員で写した写真を時に先生たちと眺めながら一人一人を懐かしき思い起こしています。高い志をもって入学された皆さんの期待に応えられているか、教育とは？など悩みながら過ぎてきた七年間だったように思います。よい教育をするためには教員がしっかりとスクラムを組み、常に学生にとって何が大事かを判断基準とすることを信念として、いつも学生を視野に入れ、また教員同志が自由に発言できる職場風土をと、心掛けてきたように思います。

どうぞ、これからも知性と教養に磨きをかけ豊かな人間性をもった保健師として地域の人々のお役にたつようお互いに頑張りましょう。今年もよい年になりますようお祈りいたします。



# 公開講座

## 車椅子とスポーツ

平成19年度第一回群馬バース大 学公開講座は、10月20日(土) 13時30分から15時まで高崎キャンパスにて行われました。今回の講師は高橋俊一郎氏(非常勤講師・高崎マジック代表)と近藤照彦准教授のお二人で、テーマは「車椅子とスポーツー車椅子バスケットボールとの出会いー」でした。最初に、近藤准教授から、受傷した当時の高校生の高橋氏との出会い、車椅子でもスポーツは出来る、リ



ハビリテーションは、スポーツ参加への可能性につながるなどを話され、実際に腕のみの運動によって麻痺した部位の血行循環がよくなる事例の科学的根拠などを示されました。高橋俊一郎氏は障害者スポーツの選手になるまでの厳しいトレーニング、「高崎マジック」という車椅子バスケットチームの立ち上げ、チームを国際試合に出場するまでに高めながら良い成績を収めるまでの経過、いろいろな人々との出会いなどを感謝しながら話されました。今後は、バリアフリーの高崎市をはじめ、「スポーツが育む人・都市」の夢を実現するため邁進したいと結ばれました。最後に、会場準備にご尽力いただいた高崎キャンパス事務局スタッフの方々のご協力に感謝致します。(研究委員長 青山 正征)

## 高齢者の口腔ケア

第二回の公開講座が12月1日(土)高山村のいぶき会館で行なわれました。テーマは「高齢者の口腔ケアについてー正しいブラッシングとお口の手入れー」、講師は本学

# Shall We Dance!!

本学園は、来る2009年(平成21年)に創立10周年を迎えます。

そこで同年6月13日(土)に、記念式典の開催を予定しております。多くの関係者皆様にご参加して頂けるよう、ダンスパーティーを含めた式典を企画中です。当日は是非皆様ご参加ください。

## & Shall We Dance !!



みんな一緒にダンスレッスン!



忘年会ダンスパーティー(創立者達レッスン中...)



准教授浅見知市郎先生、参加者は二十四名(年齢は二十〜七十代)でした。講演は、パワーポイントと資料を活用し、歯ブラシを配り正しいブラッシングの実演も入れながら「口腔ケアとは」「歯の役割は」「歯が健康でない」と「日常生活の影響」「ねずみによる実験」「歯

周病が影響を与える全身疾患」等項目ごとに参加者の反応を確認しながらのわかりやすい説明でした。終了後、参加者から、「歯周病と健康の関係」「歯の大切さ」「口腔ケアの大切さを再確認できた」「大変身近な話なので高齢者のみでなくもっと多くの方にも広げて欲しいと思った」等の意見がありました。昨年は農繁期には参加者が少ないということで、今年12月初旬としましたが、昨年と同様参加者増への取り組みが今後の課題と考えます。

最後に公開講座開催にあたり、ご協力戴きました高山村役場の皆様、事務局に感謝申し上げます。(研究委員会 早川 有子)

# 学長講演

高山村保険センターから「高齢者の障害と疾病」について、小林学長に講演依頼があり、昨年の12月12日に地元の「いぶき会館」で講演いたしました。

内容は、「高齢者に多い病態」として、肺炎、尿路感染、栄養失調、脱水症、誤嚥について、さらに「生活習慣病」として糖尿病、脳血管障害、虚血性心疾患、悪性腫瘍、認知症について具体例を挙げながら話が進みました。

学長は数年前から短歌に造詣を深め、むかし糖尿病を患った大歌人の作品を絡めた話の展開に約二時間、四十数名の方々は最後まで熱心に聞き入っておられました。



当日は講演用レジメの他、せっかくお集りくださった方々に、少しでも群馬バス大学を理解していただければとの思いから、お一人おひとりに「大学案内」も合わせてお持ち帰りいただきました。

学長は日頃から、要請があればどこへでも「群馬バス大学学長」として出向くと申しております。



一昨年に続き、去る11月29日に神戸記念館で「第二回神戸先生を偲ぶ会」を開催いたしました。今回は、樋口建介総長が作成した「神戸照子先生の生き方 教育の原点を探る」という冊子を参加者へ配布し、それぞれの思い出を語り合いました。

そして今後も学生、卒業生、教職員が神戸先生を深く知り、さらに語り継がれていけるよう、高山キャンパス二階学生窓口横に、在りし日の先生の写真と基金設立「趣意書」を掲額しました。

どうぞお立ち寄り頂き、ご覧くださいますようお願いいたします。

# 群馬バス福祉専門学校 卒業生講話

平成19年11月22日(木)に群馬バス福祉専門学校三階の講義室にて、卒業生講話を昼間部の学生が聴講しました。

施設等で働く四名の卒業生が、やりがいや失敗など実体験を盛り込んで話し、在校生には大変有意義であったと思います。

この話を聞いて、二年生は就職した時に、一年生はこれからの実習にそれぞれ活かしていく事で、不安が少し軽減していくことと思います。



# 避難訓練と初期消火訓練



高山キャンパスでは12月12日(水)午後4時5分から学生・教職員全員で避難訓練と初期消火訓練を行いました。

時期的にも日の暮れるのが早く、冷ま込みも厳しい中、みな震えながらも真剣に避難しました。

また避難確認後、備え付け消火器を使用して、初期消火を体験しました。全員消火器を手にするのが初めてであり腰が引けていましたが、無事終了しました。

空気の乾燥する季節が続きます。くれぐれも火気の取り扱いには注意しましょう。



# お知らせ

昨年発生した「新潟県中越沖地震」に被災された方々へ少しでもお役に立てればとの思いから法人及び教職員から募金があり、家屋の被害に遭った三名の学生へ、そして被災地へは上毛新聞社を通じてお届けいたしました。

被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

# 群馬パース大学保護者後援会(仮称)発足に向けて

群馬パース大学保護者後援会(仮称)設立準備委員会 委員長 轟 木 恒 彦



設立準備委員会の皆さん

新年明けましておめでとうございます。早いもので私の子供が群馬パース大学の一期生としてお世話になり、この4月で四年生という事になります。その間、学校法人群馬パース学園も設立が認可されて以来十年が経過しました。

今後は大学院を見据えての運営がなされると聞き、ここまで発展をされましたのも、総長、理事長、学長を始めとする各先生方や教職員の方々、関係者の皆様のご努力はいかばかりかと推察いたします。

私は昨年も流星祭を見学させて頂きました。そこで学生諸君の洗練とした姿に感心させられたと共に、何か協力出来ないものかとも思ったものです。

そんな時、はからずも大学・学生を側面

から応援すべく保護者後援会(仮称)の立ち上げの話を聞き、たまたま住居が大学に近いという事から、何人かの保護者の方と準備委員会を立ち上げ、縁あってその会の委員長という立場で微力ながら設立に向けての準備を進めてまいりました。

大学のますますの発展と歴史・伝統作り、また二度と来ない青春真っ只中の学生諸君の充実した生活を応援するために、保護者後援会(仮称)を発足する運びとなりました。

趣旨をご理解頂きまして、今後の積極的な協力についてお願いをし、群馬パース大学保護者後援会(仮称)発足に向けてのご挨拶と致します。

宜しくお願い申し上げます。

## ● 総会のお知らせ ●

日時 平成20年2月23日(土)  
午前10時30分

場所 高崎キャンパス三階講義室

議題 役員選出  
新役員挨拶  
平成20年度事業計画(案)  
会則(案)  
会計予算(案)  
その他

ご不明な点がございましたら左記までご連絡下さい。

群馬パース大学高山キャンパス  
(総務課 衣川)  
電話〇二七九(三)三三六六

## 同窓会より

同窓会長 池田 豊



みなさん、こんにちは、群馬パース同窓会会長の池田です。同窓

会として会報の発行、総会の開催、入学式、卒業式等に参加させて頂いておられます。早いもので群馬パース大学の初めての入学式に挨拶をさせて頂いてから、四年が過ぎようとしています。在学生のみならず、学生生活はいかなるものでしょうか。

同窓会として、新しくホームカミングを流星祭の時に開催させて頂いていただきましたが、なかなか卒業



平成19年12月1日 同窓会総会にて



生を集めることができなく残念なものとなつてしまいました。多々、反省する点がありますが、次回にはもつと卒業生が集まれるように、そして、流星祭をより盛り上げるためにも、ホームカミングを実施していきたいと思っております。

大学からも本格的に同窓会への支援がはじまり、保護者会も立ち上がると聞きました。

会長としていたらない点もありますが、役員たちと協力し群馬パース同窓会を盛り上げていきたいと思っております。みなさんもぜひ大学でたくさんの方人をつくり、卒業したあとも同窓会を通して親睦を深めていってほしいと思います。



# 流星祭

平成19年11月3・4日

群馬パース大学

広場



# 学園祭

群馬パース  
福祉専門学校



ビンゴゲーム！  
何が当たるかな…

平成19年10月20日(土)に群馬パース福祉専門学校として初めての学園祭「PAZ祭」が行われました。「One For All, All For One ~信じられる仲間がいる~」をテーマにし、クラスごとに模擬店やバザー、ステージ発表など学生全員で取り組みました。小さなお子様から高齢者の方までたくさんの方が来て、楽しんでもらえたようです。



模擬店

## 編集後記

今年は大大学院設置に向けた作業、創立10周年記念事業の準備、さらには保護者会立ち上げなど節目の年となります。

ひとつひとつ丁寧に対応したいと思います。

〒377-0702  
群馬県吾妻郡高山村中山6859-251  
TEL 0279-63-3366(代)  
FAX 0279-63-3477  
URL <http://www.paz.ac.jp/>  
E-mail paz@paz.ac.jp

## 卒業式のお知らせ

平成19年度の卒業式の日程が、下記のとおり決定しました。詳細は確定次第お知らせします。

### 群馬パース学園短期大学地域看護学専攻

日時 平成20年3月13日(木)10時より  
場所 渋川プリオパレス 渋川市金井1296  
TEL 0279 23-0033

### 群馬パース保健福祉専門学校

日時 平成20年3月13日(木)11時より  
場所 渋川プリオパレス 渋川市金井1296  
TEL 0279 23-0033